

令和4年度事業報告

<人材の育成事業>

1. 海外の大学院に留学する日本人学生に対する奨学金の支給

平成29～令和4年度採用の海外の大学院（6カ国32大学/2研究所）に留学し修士号又は博士号の取得を目指す日本人学生48名に奨学金を支給するとともに、令和5年度の募集・選考を行い、採用12名を決定した。（分野：情報科学、生命科学、経営科学）

2. 日本人若手研究者に対する研究助成金の支給

令和4年度採択の研究課題8件（6大学2研究所）に研究助成金（1件500万円以内、総額3,500万円）を支給するとともに、令和5年度の募集・選考を行い、研究課題16件（総額5,500万円）の採択を決定した。その後、1件の辞退があったため、令和5年度の最終採択は15件（総額5,450万円）となった。（分野：情報科学、生命科学。なお、令和4年度は情報科学分野の公募を一時中止とし、採択は生命科学分野のみ。）

<留学生交流の助成事業>：以下3事業は（独法）日本学生支援機構(JASSO)が窓口

3. 外国人留学生地域交流事業に対する助成

地域の関係機関等が連携・協力して行う留学生地域交流を推進するための事業（国際理解教育の推進、生活支援体制の整備、地域住民との交流推進、各種ネットワークの整備等）に関し、一般公募により特定非営利活動法人国際社会貢献センター等14団体14件を採択した。その後、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した団体の辞退があったため、最終的には13団体13件への助成となった。

4. 外国人留学生国際交流事業に対する助成

留学生等を主な対象として国際研究交流大学村において実施される東京国際交流館国際交流フェスティバル（令和4年度は対面式とオンライン式とのハイブリッド型開催のため、兵庫国際交流会館と合同開催）、国際シンポジウム「国際産学官連携による人材育成の取組み」、国際塾、大学村フォトコンテスト等の各種国際交流事業に対して助成を行った。なお、今年度の交流事業は対面式とオンライン式の両方を用いて、それぞれの特性を生かした開催となった。

5. 外国人留学生生活支援事業に対する助成

国際研究交流大学村（東京国際交流館）に居住する留学生等を対象とする、入居日本人学生によるレジデント・アシスタント活動、トレーニングルーム指導サービス、日本語広場等ボランティア活動、等の生活支援事業に対して助成を行った。

<その他（人材の育成事業）>

日本人独立研究者に対する始動助成金の創設準備

令和6年度採択（令和5年度に募集・選考実施）より助成開始を予定している、「日本人独立研究者始動助成金」の創設準備を行った。